

環境の都ニュース

2019.7.1 NO.100

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

祝！創刊 100号

長岡京市生活環境審議会会長 白石克孝
(龍谷大学副学長 政策学部教授)

『環境の都ニュース』第100号おめでとうございます。巻頭言を使わせていただいて、関係者皆様にお祝い申し上げます。

本ニュースは、長岡京市の第1次環境基本計画の制定を受けて、「長岡京市環境の都づくり会議」発足と共に、スタートしたとうかがっています。その成り立ちもあって、環境基本計画の実施や具体化とむすびついた情報発信の媒体にも、本ニュースはなっています。生活環境審議会会長としましては、まずもってこのことにお礼を申し上げたいと思います。

第100号までの間に起こった、個人的に印象深い環境に関わる出来事では、福島原子力発電所の事故、そしてパリ協定の採択があげられます。私の人生にも影響がありました。

京都議定書の批准や発効の時には、国際的な枠組みづくりが、パリ協定まで進むとは思っていませんでした。気候変動は避けて通れないという認識が広がったのは、うれしいと思う反面、地球の直面する状況が深刻になっている証拠と思うと怖くもあります。私が生活環境審議会会長をお受けした直接的な動機でもあります。

原発の重大事故の発生と、固定買取制度（FIT）の実施の時期が重なったことで、私自身が発電事業に取り組むことになりました。私の所属する龍谷大学が社会的責任投資をすることによって、近畿圏に3カ所の龍谷メガソーラーを建設できました。

こうして振り返れば、100号という期間は短くはありません。次の100号に向けて、皆さんと共に歩みたいと思っております。



次世代へのバトンタッチ 大学生の新しい学び



大学と再生可能エネルギーとを結びつけた
龍谷メガソーラーのひとつ（兵庫県洲本市）

「環境の都ニュース」100号までの歩み

2002年1月に、“長岡京市を環境というジャンルで日本の首都と呼ばれる様な都市にしよう”という目的で『長岡京市環境の都づくり会議』が発足し、その時に「環境の都ニュース第1号」が発行されました。

環境の都づくり会議の活動を市民の皆様をはじめ、内外の大勢の関係者の方々に広く知っていただきたい思いで発行を継続して、令和元年（2019年）7月1日付けで第100号の記念号発行を迎えることが出来ました。

当初は白黒印刷4面で隔月発行を原則にしてまいりましたが、85号よりカラー印刷化し、3ヶ月毎の発行として紙面の充実を図っています。

これからも皆様の温かい御支援の程、よろしくお願い申し上げます。

長岡京市環境の都づくり会議 代表 江川宗治





長法寺小



第六小

今年も筍シーズンには沢山の子供たち、保護者の方々に喜んで頂く事が出来ました。今年是不作と言われた上に、近隣の竹やぶではイノシシの被害も多発して、収穫に不安を抱きましたが、長岡天神公園の竹林では昨年に劣らず沢山の収穫があり、例年以上に味の良い筍が掘れました。

すくすく教室では第四小、第六小、長法寺小の子供たち、ゆりかご保育園児、古市町子供会など 200 人近くの皆さんに筍掘を楽しんで頂きました。われわれボランティアメンバーも日頃の活動のご褒美として、春の筍は楽しみにしていますが、やはり今年は去年の半分も捕れない状況でした。

そんな中でもお手伝いいただいている“花にしき”の女性方には筍掘を楽しんで頂き、楽しい一時を過ごして頂き、交流の輪も広がりました。



花にしき



ゆりかご保育園▶

ゆりかご保育園で「笑顔輝く環境イベント」を行いました

PJT リーダー 田原誠一郎

ソーラーカー

屋上にあるソーラーパネルと同じように、太陽光で発電して動く「ソーラーカー」。曇り空もみんなでお願いしたらいつぱんに青空になり、どンドン走って園児は大喜び。



竹ぼっくり

床の上で、園児は素足ですから・・製作した方々も初体験！竹馬の脚や竹ポックリにクッション材を巻いて、何とか大成功！

毎年6月5日の世界環境デーに、子どもたちに自然の力を伝える取り組みを実施して15回目。本年は、4、5歳児対象に太陽の力を感じることが出来るソーラーカーや水・光の力でたけのこからグングン成長した竹を使って竹馬・竹ポックリ・竹とんぼに親しみました。

自然の力で育まれた乙訓の竹を通じて愛情いっぱいかけてつくって頂いた玩具に触れ、子どもたちの挑戦意欲も高まり、笑顔と歓声の中、地域を愛する気持ちも一段と深まった楽しい環境イベントでした。

高橋 由紀子 (ゆりかご保育園園長)

竹林整備体験会に来てみませんか！

PJT リーダー 湯川圭造

竹林再生プロジェクトでは今年度から毎月第1日曜日に“竹林整備体験会”を開催しています。われわれの活動は人手が頼りですが、メンバーの平均年齢も75才を越え、活動の引継ぎ手を求めて仕事を持つ現役の方や女性にもお手伝い頂こうと始めた取組みです。5月と6月の体験会の模様をご紹介しますので是非、一度覗いて見て下さい。

昨年度から、今年にかけて、7名の方に作業に参加頂き、5名の方に当会に加入頂きました。お蔭で、会のメンバーにも元気が出てきました。参加頂いた方々はそれぞれ特技をお持ちで、そのノウハウを生かした活動がわれわれの活動を後押ししてくれています。感謝の気持ちで一杯です。今後も毎月第1日曜には体験会を継続しますので、平日は参加できない方も是非一度覗いて見て下さい。次回は7月7日(日)9時から開催します。

<5月5日> 3名の新人を迎え、夏の暑さを感じる日でしたが、爽やかな竹林で、気持ち良く作業しました。初参加の方には竹伐りの基本、枝の払い方から安全対策など作業の基本を知って頂きました。新人とはいえ山林作業の経験者もあり、自前のチェーンソーで手際よく、我々も顔負けの方もおられ、心強く感じました。女性には危険な力仕事は避け、切り倒した竹の集積や整備作業の手伝いなどやって頂く仕事は色々ありますし、竹藪に自生しているお茶の葉や山椒を摘むなどの楽しみもあります。鳥が運んだ南天、万両、柊なども楽しめます。

<6月2日> この日も3名の新人に参加頂き、竹林内の草刈、サバエ刈り、竹藪沿いの周辺道路の清掃などを行い、昼はメンバーの病気復帰祝いと新人の歓迎を兼ねた食事会を、竹林の涼風の中で催しました。新人の女性の手も借りて、具沢山の美味しい豚汁を作って頂き、女性軍の有難さを実感した次第です。



里山再生
PJT

募集

小泉川であーそぼ!

PJTリーダー 加藤克巳

夏の西山ファミリー環境探検隊

環境の都づくり会議会員他がサポートしています。

日時 2019年8月17日(土) 9時30分~12時30分
雨天 翌日18日(日)
場所 西代(にしんだい) 里山公園 管理棟前集合
対象 小学生の親子 定員 15組(50名程度)
内容 大学生のお兄さん企画の紙芝居・工作(竹マラカス)
小泉川で川遊び 川で冷やしたスイカ、キュウリを食べる



参加費 一人200円

申込み受付 詳細は広報長岡京7月1日号をご覧ください。

申し込み先 西山森林整備推進協議会(環境政策室内) tel.075-955-9542

主催 西山森林整備推進協議会

花を咲かそう
PJT

花壇は夏の装いになりました

PJTサブリーダー 奥西弘武

5月はカラカラ天気が続き、冬場を越した花々はとくに枯れ散ってしまい、中央公民館や文化ホールでの催しの際には恥ずかしい思いでした。花の受給時期になったものの植え替え時期をためらっていました。その時1日だけ雨が降ったのをのがさず、マルチシートを張って土の湿りを閉じ込めました。早速その翌日(5月30日)に中央公民館と西山公園体育館の花壇の植え替えを実施することができました。早く梅雨に入って、適度に雨を降らせてほしいものです。



今年の花はニチニチソウ、マリーゴールド、ペゴニア、ペチュニアの4種です。マルチシートは黒/白に両面使いできるものを調達し、この夏は白い面を表にしています。

昨年から実施している土壌改良と合わせた花壇の日照り乾燥対策です。これらの施設を利用する団体に水やり協力を働きかけて、一部の協力を得ています。7月18日には西山公園体育館の花壇整備を行い、全国小学生バトミントン大会に備えます。

花の植え込み風景

雨後のマルチシート張り作業



ここCOライブ
PJT

SDGs を分かりやすく

PJTリーダー 西村日出男

エスディージーズ

このままだと地球が持たない。その危機感から、世界中が共同で取り組んでいくために生み出された新しいものさし=SDGs(持続可能な開発目標)。今、企業、NGO、自治体、大学などさまざまなところでSDGs推進が広がってきています。ふとしたことから立命館中高生が昨年取り組んだ「キャンパスSDGs」を知りました。SDGsの17の目標に関わる行動を、中高生にわかりやすいかたちで具体的に提示したポスターを作成したというもの。JANIC(国際協力NGOセンター)のSDGs内容紹介の文書をもとに生徒たちが考えた行動計画には、『募金箱に入れてみよう』『音消しは水ではなく音姫を』『ストップ!電気のつけっぱなし』『みんな同じ地球人』など、わかりやすい表記が並びます。『自分の「正しさ」だけを信じないで』『誰かのHELPに気付けるセンサー』というのもある。パートナーシップや人権を大切にしたいという思いが込められていると感じます。貧困やジェンダー、エネルギーや気候変動などに関心を持って、ひとりひとりが主体的に考え行動しようという呼びかけはすばらしいと思います。わかりやすさが肝心ですね。

(文:古澤登美代)

信頼づくりで地域と暮らしを支援
有限会社 長岡美装社
(廃棄物収集運搬業)

いカルとワカル
適正料金
自動計量システム
搭載車

0120-08-7903

スポーツクラブ BASE 1
ベースワン

子供から高齢の方まで、どんな方でも来店頂けます。

長岡京市奥海印寺森ノ下4
TEL. 075-956-1219
営業時間 7:00~20:00
定休日 土・日・祝日



支援学校タケノコ掘り体験



晴天の4月16日、向日が丘支援学校の小学部の児童45名と付き添いの先生35名が粟生の五十稜竹林に来てくれました。タケノコ掘りは昨年に続き2回目ですが、スタッフ10名が怪我なく楽しんでもらえるように応援体制をくみました。

初めての児童や車イスの児童もいてスコップで掘るのも悪戦苦闘、それでも10分程かかって掘れたタケノコを手にして満面の笑みでした。言葉で表現出来ないけれど筍の形状、感触、大きさ、重さ等肌で感じ取ってくれたと思います。

学校としても「社会に開かれた教育課程」に基づく実践を積極的に展開することを掲げています。私達も放置竹林の整備で多忙ですが、地域に貢献できしかも児童が楽しんで体験でき教育の一助になればこの上ない喜びです。お土産の筍、美味しかったでしょうか？

夏には竹のシャワーづくりを依頼されています。どんなシャワーで水遊びができるか皆で楽しみにしています。

竹林再生プロジェクト 渡辺節郎



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越聡

2019年 環境年間行事日程 直近版(7月～9月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	こここCOライブ、等
7	環都ニュース発行(7/1) 環都月例会議(7/9)	森林ボランティア(7/7) 森林ボランティア(7/21)	すくすく川遊び(7/27 四小)	竹林整備活動(毎週月曜) 竹炭整備体験会(7/7)	体育館花壇整備(7/18)	すくすく教室十小(7/3) エコ Me(7/16)	SDGs 啓発活動も!
8	環都月例会議(8/13)	森林ボランティア(8/4) 西山F探検隊-2(8/17) 森林ボランティア(8/18)	ビオトープ活動休み	竹林整備活動休み	緑のサポーター(随時)	大山崎夏の身近な科学遊び(8/2)	
9	第9回長岡京環境検定試験(9/8) 環都月例会議(9/10)	森林ボランティア(9/1) 森林ボランティア(9/15)	竹炭焼き(第2、4木曜)	竹林整備活動(毎週月曜)	緑のサポーター(随時)	エコ Me(9/17)	
				3PJT 合同例会(7/19)			
				3PJT 合同例会(8/16)			
				3PJT 合同例会(9/20)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは江川まで。Tel. 075-957-6169
E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。各PJTの活動内容と写真などがあります。

都づくり会議 検索



編集後記

本号は我々にとって大きい区切りとなる創刊100号です。令和となって最初の発行でもあり、関係者一同気合もはまりました。これからも市民の皆さん、関係者の皆様に興味を持って読んでいただける紙面づくりを心掛けて行きますので、ご愛読・御支援の程よろしくお祈りします！